

INFORMATION & OTHERS

モトクロスはライダーとお客様が主役です！

今大会の会場「世羅グリーンパーク弘楽園」は、ハイスピードのアップダウンや大小のジャンプとコーナーが連続する正にダイナミックという表現がぴったりなコース。開幕戦の九州や関東が砂や柔らかめの路面だったのに対して、ここは放っておくとカチカチに固まる独特の土質が特徴です。ただし、

硬質路面のままだと1本ラインに少なくなってしまうので、本番を前にどうメンテナンスするかが面白いレースになるかどうかの鍵になります。

今回その大役を担っているのが橋口典弘さんと長田智邦さん。二人とも元IAライダーで、当然モトクロスのスペシャリスト。1週間コースに泊まり込んで整備を行っていたとのこと、全国から集まってきたライダーたちはもちろん、ファンにとっても最高のコンディションが用意されているはず。

一方で、ここ数年外周路から見るだけじゃつまらないという意見も数多く耳にします。以前はKYBラムソングジャンプ下のトンネルを潜ってインフィールドに入れたんですが、転倒やコースアウトなどモトクロスならではのアクシデントにお客さんが巻き込まれるは大変という判断から、観客の安全を最優先する

ことになりました。一カ所に陣取って見るならラムソングジャンプ横が絶好のポジションではありますが、ライダーに声援を送るなら最終からのストレート横や、フィニッシュジャンプの正面もオススメです。あちこち移動してお気に入りの観戦ポイントみつめてください。

次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について。これはクラスごとに違っていて、今年からIA1が白地に黒文字に変更となりました。逆に黒字に白がIA2、青地に白がIB、IA1と同じ白地に黒で車体の小さなマシンがLMX、以下ジュニアクラスは赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となっております。マシンのカラーは基本ホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTMがオレンジでハスクバーナが白。そんな中、IA1の成田選手とIA2の横山選手が使用する赤地のゼッケンは、レッドプレートと言ってポイントランキングトップの証です。

実況放送がよく聞こえないという方、予選、決勝を通じ、スマートフォンで「CHECKLAP」というサイトに接続すれば順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。基本全体が見渡せるコースですが、1〜2コーナーから先の下りと鉄塔までの登り区間がブラインドになってしまいます。誰が最初に駆け上がりて来るか楽しみにしてください。

ここまで読んで？???となってしまう方、入場の際にももらった公式ブログラムをもう一度見直してみてください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プログラムのエントリーリストを見比べると、徐々にどれが誰か分かるようになってくるはず。外見でライダーの区別ができるようになると、凸凹県出身のMX選手は△色のマシンでゼッケンは□色の○番…と逆引きもできて、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。



シンの色、プログラムのエントリーリストを見比べると、徐々にどれが誰か分かるようになってくるはず。外見でライダーの区別ができるようになると、凸凹県出身のMX選手は△色のマシンでゼッケンは□色の○番…と逆引きもできて、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

ワクワクドキドキが一杯パドック散策のススメ

とはいえ、ず〜っとレースを見続けていたらさすがに疲れます。もちろんお昼休みもあるんですが、お目当てのライダーがいなときは、イベントブースやパドック巡りをぜひ楽しんでください。走行前のライダーとトイレでばっかりとか、走り終えたライダーをパドックに訪ねてポスターにサインをもらうとか、レース以外にも楽しみはいっぱいあります。

また、各メーカー様々イベントや展示を用意してくれています。開幕戦九州大会では、ホンダが電動モトクロスカーの展示、デモ走行を行い世界の注目が集まりました。

ヘルメットやタイヤメーカーのサービスブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくないし、特性のノベルティグッズが貰えちゃったりもします。スタッフさんに性能や価格などを問い合わせるのもあり。忙しい時間であれば必ず対応してもらえます。ちなみにメーカー毎に配布している応援用の旗は、持ち帰って2枚重ねて縫い合わせると、かわいい巾着袋が作れると近頃評判です。

バイク好き、メカ好きな方は、各ワークスチームにスタンバイするファクトリーマシンにも注目。いずれも先行開発車両で、全日本でしか見ることができないスペシャルマシンの数々です。テントに2台のマシンが置いてあったら、じっくりと見比べてください。ブリヂストンとダンロップ、ショーワとKYB、タイヤとサスペンションの違いはすぐわかるはず。それ以外にも微妙にマシンの仕様が変わっていたりするはず。ワークスチームは、将来的な開発テストとライダーの好みに合わせた作り込みを同時進行させながら、マシンの性能を高めています。その違いに気づけたら、あなたのメカセンスはプロのエンジニア並みです。

「おやっ!」と思ったら思い切ってスタッフさんに質問しちゃいましょう。「それはちょっと答えられません。」と言われたら、それこそ大きな秘密が隠されているに違いありません。メカニックさんの仕事ぶりも、あまりの手際よさに見ていて感心しちゃうと思います。そんな全日本ならではのマニアックな楽しみ方もぜひ満喫してください。

今すぐ知りたい。MXの表も裏もレポートします。全日本モトクロスの画像やインサイドレポートをリアルタイムで手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが、今年もやっています。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをご提供中です。

編集後記 開幕戦九州大会からの帰路、昨年集中豪雨による大災害が発生した岡山の実備町を訪ねてみました。至る所で河川などの復旧工事が行われ、場所によっては取り壊された家の跡や、泥を掻き出したのががらんとした家々が点在。傷ついた町並みに心が痛くなりました。あの自然災害で、昨シーズンは8月に予定されていた第7戦中国大会が中止になりました。結果として今年のシリーズ戦も1戦少なくなり全8戦となったわけですが、被災地に元気を与える大会が再び開催できたら強く思います。

今すぐ知りたい。MXの表も裏もレポートします。

挑戦するアスリートの姿は、私たちに感動や勇気をもたらします。ウィメンズ世界選手権に参戦する畑尾樹璃選手もそんな一人。金曜日に一時帰国する畑尾選手は、空港から家ではなく、そのままこの会場に来るとのこと。完全プライベートでの世界チャレンジは、資金的にも大変だと聞いています。もし見かけたら、激励の言葉を送ってあげてください。

ポイントリーダーとなった成田ライバルの追撃は果たして!?

ポイントリーダーとなった成田ライバルの追撃は果たして!?

ポイントリーダーとなった成田ライバルの追撃は果たして!?

ポイントリーダーとなった成田ライバルの追撃は果たして!?

ポイントリーダーとなった成田ライバルの追撃は果たして!?

ポイントリーダーとなった成田ライバルの追撃は果たして!?



チームメイトであると同時に最大のライバルでもあるIA1山本 鯨と成田 亮。激闘を制してランキングトップの座を奪い取った最王者成田に挑むのは、山本かそれとも? Photo/K.Kida

全日本モトクロス選手権シリーズ第3戦中国大会は6月1〜2日に広島県世羅郡世羅町の世羅グリーンパーク弘楽園で開催される。全8戦の短期決戦となったシーズンは早くも中盤戦へ。IA1クラスは最多勝、最多タイトル共に前人未踏の記録を更新し続ける成田亮が、IA2は初タイトルをめざす横山選手がポイントリーダーとしてライバルの挑戦を受ける。ハイスピードの空中戦、激闘が予想される今大会。国内最高峰の激しいバトルに更なる拍車がかかる。

ポイントリーダーとなった成田ライバルの追撃は果たして!?

ポイントリーダーとなった成田ライバルの追撃は果たして!?

制作・発行/MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62
Tel. & Fax. 050-1536-5147
E-mail: kida@mxing.com
HP: http://www.mxing.com

発行・印刷/東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住南園町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax. 03-5284-1174
HP: http://www.topc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行 無料

PREVIEW-GREEN PARK KORAKUEN

モトクロス観戦を楽しむポイント
一、好きなライダーを一人見つけておく。
二、横一線、ド迫力のスタートを見逃すな!!
三、コースサイドから大声で応援しよう!!

一方1年間のブランクを経て復帰してきた平田 優 (#81 / ヤマハ) もランキング2位で存在をアピール。大倉由揮 (#36 / ヤマハ、内田篤基 (#38 / スズキ)、大城魁之輔 (#44 / ホンダ) や島谷部晃太 (#37 / ヤマハ) ら若手とのバトルにも注目が集まる。

本田七海が2年連続開幕V混戦必至のLMXクラス
念願の初タイトルを手に畑尾樹璃 (#1 / ホンダ) が世界選手権挑戦を開始したことで、こちらもチャンピオン不在となったレディークラス。そんな中、圧倒的な速さで開幕戦を制したのが本田七海 (#6 / ヤマハ) だ。2年連

第1戦	九州大会	4月13~14日	熊本県/HSR九州
第2戦	関東大会	5月11~12日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第3戦	中国大会	6月1~2日	広島県/グリーンパーク弘楽園
第4戦	SUGO大会	7月6~7日	宮城県/スポーツランドSUGO
第5戦	東北大会	7月20~21日	岩手県/藤沢スポーツランド
第6戦	近畿大会	9月14~15日	奈良県/名阪スポーツランド
第7戦	九州大会	10月12~13日	熊本県/HSR九州
第8戦	MFJ GP	10月26~27日	宮城県/スポーツランドSUGO

全日本モトクロス選手権 第3戦 中国大会 開催おめでとうございます。



携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。

携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご利用ください。